



NO.	吉川町まちづくり協議会 1 建設海岸(堤防)と津波対策について
受付	令和6年2月2日 金曜日 吉川町まちづくり協議会ふらっと座談会で意見聴取 津波を想定した建設海岸(堤防)は、いつできるのか。津波対策はどう考えているのか。 【補足説明】 土佐市・高知市・南国市は国の直轄海岸であり、堤防工事は南国までほぼ完了している。いのちの観点から考えると平等に扱い、国の直轄にし堤防工事を着工してほしいが、市長の考えは？
担当課	建設課

NO.	吉川町まちづくり協議会 2 事前復興計画について
受付	令和6年2月2日 金曜日 吉川町まちづくり協議会ふらっと座談会で意見聴取 事前復興計画について、吉川町民はどういう行動をとればいいのか。  【補足説明】 東北震災後、避難タワーもでき、地域で避難訓練もしているが、参加者も減ってきており、実際災害にあったら、あきらめ感もあるのが現状。 計画をかつちりして、どういふ行動をとるのか、吉川はどうなるのか知りたい。そういうことがわかれば、防災に対して意識向上になると思う。どういふふうになるのか住民に説明してほしい。
対応状況等	【地域への回答内容】 【市長】 事前復興計画とは、東日本大震災等過去の震災等の教訓から、自然災害により大きな被害が発生したことを想定し、災害発生前に減災や復興のためのまちづくりを住民、事業者、行政との協働で推進していく取り組みのことであります。 東日本大震災では、発災後の混乱の中、復興に向けたまちづくりに着手したが、膨大な復興業務に対する人手不足や行政主導の復興計画の策定に対する住民等の不満、地域コミュニティの崩壊など、復興に対する様々な問題が発生し、その結果、復興の遅れにつながりました。このような問題を解決するため、平常時から復興に向けたまちづくりを住民・事業者・行政の協働で進めていくことが重要であると考えています。 本市では、今年度から庁内9課4支所の職員による事前復興まちづくり計画策定プロジェクトチームを設置し、計画の策定に向けた取り組みを始めています。 今後の予定では、令和7年度に香南市事前復興まちづくり計画(素案)を策定し、令和8年度からは自主防災組織代表や自治会長などによるワークショップを開催する予定です。ワークショップでは災害後のまちの復興について議論していただき、そこで出た意見を反映した5町の事前復興まちづくり計画を順次策定していくので、吉川町まちづくり協議会の皆様にもワークショップへのご協力をよろしくお願いいたします。 公共施設マネジメントや学校規模適正化などとリンクし、バランスを取りながら、地域の皆様の思いを取り込んでいくことも大事にしながら取り組んでいかなければと思っております。プロジェクトチームも検討し動き始めたところで、すぐにはいかならないと思っておりますが令和8年度にスタートすることを考えています。
	防災対策課

NO.	吉川町まちづくり協議会 3 吉川町の将来像について
受付	令和6年2月2日 金曜日 吉川町まちづくり協議会ふらっと座談会で意見聴取
要望・意見	市長が考える吉川町の将来像は？  【補足説明】 吉川は人口が減少傾向。いろいろなものが一極集中になっている。合理化され、施設はこわし、さびれる一方である。この原因は市の位置づけにあり、行政の責任である。吉川の発展を考えての施策であってほしいと考える。
対応状況等	【地域への回答内容】  【市長】 吉川町の人口は減少し、市の機能は一極集中になっています。人口減少は政治責任が大きく、挽回は難しいと考えます。今までは人が増えていくことがひとつの町の発展の指標でありましたが、そういった現状の中、あらゆるあり方を見直したとき、減っていくものがあるということはやらざるを得ないと思います。 その中で吉川町にどうやって光を残していくか、地域の方との話し合いが必要と考えます。その核となるのが吉川町まちづくり協議会であり、吉川町まちづくり協議会是一个の町単位で組織され、まとまっています。 市から吉川町に対して、「これをしましょう」というよりも、町に光を残していくために、まちづくり協議会や若い方も巻き込んでどうするかを話し合いをしながら、そうした光を見出していくことが大事だと思います。 例えば、集落活動センターのサポート制度を活用し、漁業や農業などなりわいを守りながら、なくなっていく施設を有効活用するなどの方法があります。また、ここは、空港に一番近く立地条件がよいので、そのよい面を活かしたまちづくりを考え、事前復興とも絡めながら行えたらと思います。 お住いの方の地域への愛情、特に、若い方が持っている愛情をできるだけ大切に維持できるようにし、また、地域の方が活かされるようなまちづくりが行えたらと思います。 ここは、老壮青のバランスがとれており、地域のつながりが強いです。そのいい面を活かし、まちづくり協議会と支所が核となってまちづくりを進められたらと思いますし、希望もあり注目もしています。 ここでの座談会は、本音の部分で話し合いができる場で、自分も大切に思っていますので、一緒に協力をして進めてほしいと思います。
担当課	市長